

## 一般社団法人京都市知恵産業創造の森 令和2年度事業計画

「一般社団法人京都市知恵産業創造の森」は、知恵産業の創出拠点である京都経済センターを核に、様々な知恵の交流と融合による新たな価値の創造を図るとともに、次代の京都産業を担う産業人材の育成や、オール京都の中小企業支援など、戦略的に産業振興施策を推進し、知恵と文化、技術を基軸に持続可能な京都の産業発展と経済活性化を図っていく。

実質的な活動2年目となる令和2年度は、京都経済センターの入居団体をはじめ、京都企業の育成を担う様々な団体との交流と協働を一層強化することとし、「京商知恵基金」との連携により多様な人材の育成支援を行うとともに、京都経済センターがスタートアップ支援の拠点として円滑に機能するよう、スタートアップ・エコシステムの確立に向けた取組を推進する。

### 1. 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業

京都経済センターに集まる多様な人々の交流と協働を通じて、新たなネットワークの創出やオープンイノベーションを促すことで、新たな価値の創造を図る。

#### (1) オープンイノベーションカフェ「KOIN」の運営

##### ① 多様な人々によるオープンイノベーションカフェ「KOIN」の活用促進

多彩な交流から新しい価値の創出につながるイベントを開催し、学生や女性、若い世代を中心とした利用促進を図るとともに、利用者とのコミュニケーション拡充に注力し、利用者や支援機関等の交流と協働による幅広いKOINコミュニティの形成を図る。

##### ② 起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援の取組の実施

ビジネスのアイデアを育て、具体化をサポートする「KOIN アクセラレータープログラム」や、オープンイノベーション手法による新事業創出等、新たなチャレンジを支援するとともに、更なるビジネス展開に向けた様々な課題解決等に、関係機関と連携して取り組む。

##### ③ SNSや掲示板等を活用した情報発信の強化

オープンイノベーションカフェ「KOIN」で行う取組みや、新事業の創出に関する情報等を発信するとともに、利用者やイベント参加者が自ら取組みや成果、商品・サービスを発信、PRできる情報発信機能を強化し、交流と協働の拡大、深化を図る。

##### ④ ネットワークを活用した起業支援の充実

産業支援機関やコワーキング施設運営者、金融機関等、創業のエコシステムを構成する団体

とスタートアップ等を結びつけるハブとしての機能を果たすとともに、支援機関等とも連携しながら、起業アイデアから事業化まで一貫した支援体制を構築する。

## (2) 京都産業及び京都企業の魅力発信

展示・PRブースやWEB等の様々なメディアを活用し、京都産業の多様な魅力や企業の強みなどを幅広く発信するとともに、マーケティングやプロモーションの一環として、京都企業の商品展示を企画、調整する。

## **2. 産業施策の戦略的な推進に関する事業**

次代の京都産業を担うスタートアップをはじめ、中小企業を戦略的に育成・支援することを目的に、京都経済センターの入居団体や、京都企業の育成を担う主要な団体と連携しながら、オール京都による産業施策の推進を図る。

### (1) 京都スタートアップ・エコシステムの推進

創業・ベンチャー支援体制の強化を図るため、当法人にスタートアップ推進部を設置し、京都経済センターがスタートアップ支援の拠点として円滑に機能するよう、関係団体と連携し、オール京都によるスタートアップ・エコシステムの構築に向けた取組を推進する。

### (2) オール京都のビジョン共有等を図る事業推進協議会の運営

京都産業や地域社会の課題に基づき、本法人の取組みに関する意見交換、オール京都のビジョンの共有及び連携協議の場として、経済団体や産業支援機関等で構成する「事業推進協議会」を運営する。

- ① 事業推進協議会
- ② ワーキングの設置

## **3. 産業人材の育成支援に関する事業**

企業を取り巻く環境が大きく変化する中、産業構造の転換に対応した高度人材の育成など、次代の京都産業を担う人材を総合的に養成する。

### (1) 産業人材育成に係る企画、調整、運営

経済団体や産業支援機関が実施する研修等の効果的な実施に向けて連携と情報共有を図るとともに、重点的な分野別研修等を企画・調整し、事業発信やオール京都で次代の京都産業を担う人材を育成する。

## (2) 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進

次世代産業の高度人材などの育成に向けて、多様な主体との連携により、産学公連携による取組みや中小企業大学校のサテライトゼミの活用、高校生・大学生を中心にビジネスを学ぶ場の提供、小中学生のものづくり体験等、効果的な人材育成を推進する。

## (3) 「京商知恵基金」を活用した人材育成の推進

京都商工会議所に創設された「京商知恵基金」による人材育成、若手起業家の支援事業について、連携して実施に取り組む。

## **4. 産学公連携の推進に関する事業**

オール京都の産学公金のネットワークを活かし、オープンイノベーションの更なる推進、人文社会学系大学が実施している地域連携への支援、経済団体との連携による情報交換、情報発信に資する取組みを行うとともに、スタートアップ・エコシステムの活性化につながる取組みを産学公の連携を通じて進める。

### (1) 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

#### ① コーディネーター交流会、産学公連携セミナー、知財セミナー

コーディネーター育成のための交流会、産学公連携セミナー、知的財産の取扱いに関するセミナーを開催し、産学公連携に携わる実践的な人材を育成する。

#### ② 産学公連携研究調査

京都の産学公連携の現状・成功事例を調査分析し、今後の産学公連携の在り方について、提案を行う。

#### ③ 産学公連携窓口

企業ニーズと大学シーズを結び付ける相談窓口だけでなく、大学ニーズと企業のノウハウを結び付ける相談窓口を併せて設置・運営する。

#### ④ 産学連携研究開発事業

産学公連携案件の創出、産業人材育成（スタートアップ人材育成含む）に資する事業を実施する。（産学公連携推進案件の組成支援、大学・産業支援機関の実施するピッチ・セミナー支援等）

### (2) 地域連携への支援

大学の地域連携を安定して実施するための教員・学生の育成支援、大学のPBL事業（課題解決型学習）支援を実施する。

### (3) 経済団体との連携による情報交換、情報発信

学生起業家によるピッチを開催し、学生同士、学生と起業家・経済センター入居団体の交流を促す。

また、「大学の知恵」活用認定制度を運用し、大学の研究成果の社会還元の見える化を図るとともに、国機関・府・市の産学公連携支援施策等の情報発信を行う。

## 5. スマート社会の実現に関する事業

中小企業等に対して、製品化やエネルギーコスト削減、IoT や AI 等の先端技術等を活用した生産性の向上等につながるスマートファクトリー化への支援を行うとともに、京都産業EMS推進本部として、産業EMSの裾野をさらに広げ、産業支援機関とのネットワークを強化する。

### (1) スマート産業関連の生産性向上

専門のコーディネーターを設置し、スマート社会実装化促進事業等を通じて、エコ・エネルギー分野の推進やIoT・AIを活用してイノベーションを図る中小企業の支援を行うとともに、人材育成や京都スマートプロダクト認定事業を実施し、企業の情報発信・販路開拓等を支援する。

### (2) 中小企業等のスマート化、省エネ・節電対策

①エネルギー消費・生産計画等の見える化による改善や生産性向上を目的にしたスマートファクトリーの促進を支援する事業や、事業者向け自立型再エネ設備等の設置を助成する事業をオール京都で展開するとともに、専門家による診断事業を充実させる。

②中小企業が行う省エネ設備改修に要する経費の一部を補助することで、省エネ・節電に通じた、温室効果ガス排出量の削減及びクレジットを創出する。

### (3) スマート産業に関わるネットワーク形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びスマートファクトリー関連事業者とのネットワークの形成と、スマート産業の効果的な普及等を図るための各種セミナー、研究会等の実施や情報発信を行う。

## 6. 関係団体との連携による産業振興等の推進に関する事業

京都経済センター入居機関をはじめ、様々な関係機関との連携を強化し、中小企業の総合的な支援体制を構築する。